

佐渡市立新穂中学校学校だより

新穂の穂り

教育目標

やさしく つよく あたらしく



☎ 22-2067
FAX 22-3838

平成28年2月25日

『それは、自分自身を許すこと』

校長 大谷直治

年度末を迎えて現在の新穂中学校は、冬の強い季節風の中でも、波穏やかな両津湾といった印象である。しかし、生徒会誌の一人一人の声を聴けば、表面上はそうであっても、思春期の中学生が見えてくる。

2年生と一緒に、4月の関西修学旅行の事前学習を行っている。その中に、USJ（ユニバーサル・スタジオ・ジャパン）の学習がある。アトラクションには、スパイダーマンもある。

映画『スパイダーマンⅢ』では、好きで好きでたまらない彼女との行き違いで悩んで、自分の行為を後悔している主人公に、養母が次のように励ます場面がある。

「一番難しいことから始めなさい」、「それは、自分自身を許すことよ」と。一番難しいけれど、自分の弱さを許し、自分の非を素直に認めること。そこからしか、良い方向に転換できないというのである。

さらに養母は、「あなたは、いい人間よ、あなたは解決方法をきっと見つける。そのうちに」と続ける。教育に携わる教職員にとって、肝に銘じなくてはいけない言葉と

考える。教師が子どもを信じること、そして、待つこと。信じて、信じて、厳しく、優しく「関わる教育」の原点を確認できた場面である。

最後に養母は言う、「どんなに状況が悪く塞（ふさ）いでいても、どんなに心の葛藤（かっとう）があっても、人は自分の道を選択できる」、「どの道を選ぶかでその人が決まる。正しい道は必ず見つかるはずだ」と。

映画『スパイダーマンⅠ』での養父は、ケンカをしかけられて暴力を振るった主人公に、「復讐心は毒と同じ。人を蝕（むしば）む。いつのまにか人を醜（みにく）く変えてしまう」、「お前の年頃で、どう変わるかによって、一生をどんな人間として生きていくかが決まるんだ」、「どう変わるか慎重に考えろ」と諭す。

【今年度生徒会誌より】

○そして、体育祭当日。全員が一丸となって応援や競技を行いました。そして、結果発表。残念ながら四冠をとられてしまい、自然と涙が出て来ました。閉会式が終わり、軍のみんなが集まった時に、みんなが「ありがとう」と言ってくれて嬉しかったのに、涙が止まりませんでした。私にとって一番思い出に残る体育祭になりました。

○どの行事もやりがいがあつて心に残っていますが、一番心に残っているのは三送会です。心に残っている行事が三送会だという人はあまりいないと思います。ですが私にとってはこれが初めての仕事だったのでとても心に残っています。どうやったら三年生が楽しめるのか、どうしたら思い出に残る会になるか、一生懸命に考えて少しずつ一から形になっていくのが、とても楽しかったです。そしてみんなで一つになつてなにかを成し遂げる楽しさを改めて感じる事ができました。

平成27年度 第2回学校評価検討委員会の報告

新穂中学校では、一年間の教育活動について目標を設定し、達成状況や達成に向けた取組が適切であるかどうかを評価し、結果に基づき改善を図っています。この取組を学校評価といいます。学校評価は、日々の取組の様子を見取って結果を蓄積し、1学期・2学期末に生徒と保護者にアンケートを取って集計・分析しています。

この学校評価を保護者の代表や学校に関わる組織の役員の方に公表・説明し、ご意見をいただいて、次年度の教育活動の改善を図ることが求められています。このようにして学校・保護者・地域が連携協力して学校をつくっていかうと話し合う会議が、学校評価検討委員会です。今年度は、アンケートの結果を少しでも早く改善に生かすために例年より1月早めて実施しました。第1回を8月5日（水）に、第2回を1月25日（月）に行いました。以下は、会議の内容です。（抜粋）

今後、学校の自己評価・学校評価を活かして、次年度の教育活動の改善を図っていきます。



学校評価検討委員会での話題（抜粋）

【知育】

- ・生徒は、落ち着いた学習態度で、学力が伸びている。先生方の努力がよく分かる。これからもコツコツとやってほしい。
- ・先生と生徒の信頼関係ができています。
- ・佐渡学を充実させるため、祭の午後に参加させるというようなアイデアが先生方から出ているが、関係者としては是非やってもらいたい。しかし、新穂地区は、14ぐらいに分かれているので一斉にとというのは難しいかもしれない。
- ・祭＝鬼太鼓と考えている子どもが多い。楽しみにしている鬼太鼓には参加させてやりたい。
- ・流鏝馬などは、見に来る人が少ないが、鬼太鼓は子どもが多く参加している。
- ・1年生の「佐渡おけさ」の発表は見ごたえがあった。上手だった。
- ・学校教育では、宗教的中立は守らなければならないが、地域の神社のことや、鬼太鼓の歴史などは教えてほしい。

【徳育】

- ・生徒会主催のいじめゼロスクール「仲間づくり集会」の実施を通して、豊かな心が育ってきている。

【体育】

- ・体育祭は、地域住民といっしょになって良い雰囲気で行っていたのでよかった。
- ・部活動再編について、運動が苦手な子どものために文化系のクラブがあってもよいのではないかな。
- ・メディアへの接触時間が長いのが気になる。強調週間の取組や講演会の実施などの効果で、接触時間を減らそうとする意識が高まってきている。今後も取組を続けてほしい。
- ・フッ化物洗口は、ほとんどの子が行うようになってきている。おかげで、新潟県のムシ歯の数は減ってきている。

27年度学校評価検討委員の皆様 ありがとうございました

尾崎清孝様（後援会長） 松見泰文様（同窓会長） 尾田春俊様（民生児童委員会会長）
近辻道子様（主任児童委員） 後藤勝弥様（新穂地区公民館長）
佐山真理子様（学校評価委員） 川上達也様（新穂中学校PTA会長）

第2回生徒総会

2月12日（金）5・6校時、ランチルームで第2回生徒総会が行われました。各学級で総会資料を読み、質問事項を考えて総会に臨みました。活発な質疑応答がなされました。各質問者は生徒会活動がさらに活発になる前向きな発言ができました。

後半は、次年度の新役員・新委員長・新部長への引き継ぎ式が行われました。とてもさわやかな生徒総会でした。



生徒総会の様子



引き継ぎ式の様子

新生徒会役員

生徒会長	川上 龍久	代議委員長	北川 海人
生徒会副会長	樋口 天音	副代議委員長	松村 奈々
	藍原 友樹	生活委員長	橋本 空馬
応援団長	本間 楓	保健委員長	金子 萌美
生徒会本部	土屋太陽葵フラガ	図書委員長	城野菜々花
	池野 美音	広報委員長	松澤 花蓮
	齋藤莉央奈	ボランティア委員長	大坂 直生
	清水 晶	給食委員長	土屋 泰平
	本間日奈子	選挙管理委員長	宮崎 遥圭

3月のおもな予定

2日（水）	三年生を送る会、栄養講話	14日（月）	高校合格発表
8日（火）	高校入試（学力検査）	16日（水）	専門委員会
	1、2年実力テスト	20日（日）	春分の日
9日（水）	高校入試（学校独自検査）	21日（月）	振替休日
11日（金）	第69回卒業証書授与式	24日（木）	3学期終業式
12日（土）	バレー夢カップ～13日（日）	25日（金）	離任式
13日（日）	朱鷺健康マラソン		

4月のおもな予定

6日（水）	新任式、始業式、入学式、PTA入会式
19日（火）	全国学力学習状況調査（3年）
21日（木）	～23日（土）3年修学旅行
23日（土）	1年新穂地区探訪、2年島内探訪



メディアの怖さと便利さを学びました

スマホや携帯ゲーム機で簡単に通信ができる世の中になりました。便利な反面、使い方を誤れば、怖い目に遭います。そこで、2月8日（月）に「メディア」をテーマとした教育講演会を開催しました。11月に3校PTAの講演会で行った内容ですが「是非、子どもたちにも聞かせたい」という保護者の要望に応じての開催でした。新穂中学校全校生徒と新穂小学校・行谷小学校・八幡小学校の5、6年生で総勢160人を超える大盛況となりました。

メディアから受ける影響（抜粋）

メディア総接触時間が短いほど

- 「自分のことが好き」「自分にはたくさん良いところがあると思う」という自己肯定感に関する問いに対して、肯定的な回答の子供の割合が高い。
- 自分が「がまん強い」と感じている子供の割合が高く、一方「人や物をたたいたりしなくなる」「ムカツク」と感じる子供の割合が低い。

メディア総接触時間が長いほど

- 「生きていても仕方がない」と3回以上思ったことがあり、「自分の命は自分のものだから好きにして構わない」と思う割合が高く、生命観を否定的にとらえている。

メディア接触時間の短縮に取り組んだ追跡機調査の結果

- 「自分のことが好き」「自分にはたくさん良いところがあると思う」だけでなく、「メディア漬け生活」で失われた大切なものについての学習や「メディア接触コントロール」によって生まれた時間の有効活用が図られていた。



講師：二宮小学校 藤田賢一郎 校長先生

生徒の感想

- インターネットや携帯電話などやり過ぎると生活リズムが崩れるのでやり過ぎないように気を付けたいと思いました。ネット上に個人情報をおせてしまうと犯罪に巻き込まれてしまう可能性があるため個人情報は絶対にのせないようにしたいと思いました。SNSやメール、LINEなどは、とても危険だということを知ったので、自分も高校生になってスマホを買ってもらったら気を付けてたいと思いました。
- メディア講話を受けて学んだことが2つ、思ったことが1つあります。まず、学んだことは、外遊びが重要だということです。鬼ごっこなどの分かりやすい例を挙げて頂いたおかげでスムーズに理解できました。次に学んだことは、メールなどの返信は面倒くさそうだなということです。これに関連して思ったのが、僕は端末を所持していたのですが破損してしまいました。残念な気持ちになりました。しかし、今回の話を聞いてむしろ破損して良かったと思いました。この話を是非他の小中学生にも聞いてほしいと思いました。
- メディア接触時間が長い人ほど「自分は生きていても仕方がない」と思う人がたくさんいて驚きました。私は、メディアをもっと活用していきたいと思っています。だけど、小学校の頃はゲームより友達と外で遊ぶ方が楽しかったです。やはり、外で遊ぶことも大事だと思いました。これからの生活でメディアは欠かせないですが、メディアコントロールをしっかりしたいと思います。